

一九七七年以前出土の木簡（一三）

奈良・飛鳥京跡

1 所在地 奈良県高市郡明日香村大字飛鳥小字金屋^{かなや}

2 調査期間 第二八次調査 一九七一年（昭46）四月～一九七

二年三月

3 発掘機関 奈良県立橿原考古学研究所

4 調査担当者 藤井利章ほか



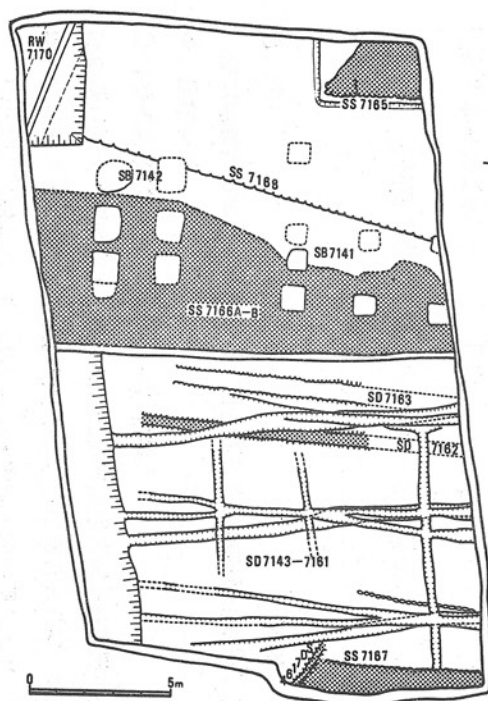
（吉野山）

5 遺跡の種類 不明（飛鳥寺および宮殿関連遺構か）

6 遺跡の年代 六世紀末～八世紀初

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地は飛鳥寺の東南約



第28次発掘調査検出遺構配置図

一五〇mのところ、飛鳥寺から岡の天理教教会に至る県道に近接する。「評」と記す木簡二点が出土した。発掘調査の結果、掘立柱建物、石溝、敷石遺構、石垣遺構、木製樋管などを検出したが、遺構の状況は複雑である。上層から掘立柱建物、中層では石溝、中層

